

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2013 年 9 月 26 日(26.09.2013)



(10) 国際公開番号
WO 2013/141093 A1

- (51) 国際特許分類:
B42F 1/02 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/056876
- (22) 国際出願日: 2013 年 3 月 6 日(06.03.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2012-066413 2012 年 3 月 22 日(22.03.2012) JP
- (71) 出願人: エヌエスプランニング株式会社(NS PLANNING INC.) [JP/JP]; 〒1700005 東京都豊島区南大塚 2 - 2 6 - 7 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 吉田 司(YOSHIDA, Tsukasa); 〒1700005 東京都豊島区南大塚 2 - 2 6 - 7 エヌエスプランニング株式会社社内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN,

IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

規則 4.17 に規定する申立て:

- 発明者である旨の申立て (規則 4.17(iv))

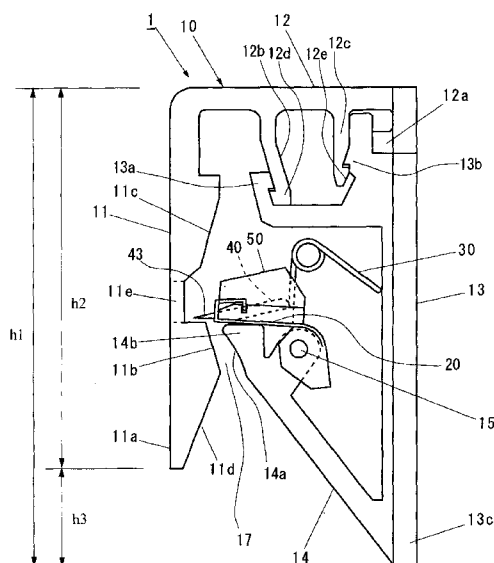
添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: PAPER HOLDER

(54) 発明の名称: ペーパーホルダー

[図 1]



(57) Abstract: [Problem] To provide a paper holder for workspaces such as manufacturing factories which definitely holds a plurality of sheets of paper in a suspended state, is appropriate for use, holds paper in a highly visible manner, and exhibits excellent user-friendliness. [Solution] A paper holder is provided with: a case equipped with a front-surface section (11), a rear-surface section (13) for facing the front-surface section with a space interposed therebetween and substantially parallel thereto, an upper-surface section (12) for connecting the front-surface section and the rear-surface section, and an insertion opening (17) positioned between the front-surface section and the rear-surface section and into which paper is inserted from below; and a holding part (20) rotatably supported by a shaft-support part (15) positioned inside the case (10), and provided with a blade (40) on which spring force is biased in the direction in which paper is withdrawn, and which is positioned so as to project from the end on the front-surface-section side. The rear-surface section (13) is provided with an extended-length-rear-surface section (13c) formed so as to extend farther to the bottom-side than the bottom-side end section (11a) of the front-surface section (11), and an angled-surface section (14) extending substantially linearly, when seen from a lateral view, from the bottom-side end section of the extended-length-rear-surface section (13c) toward the direction of paper insertion. In addition, the front-surface section (11) is transparent.

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2013/141093 A1



【課題】生産工場等の業務スペースにおいて、複数枚の紙を吊るした状態で確実に保持し、使用するのに適し、かつ、保持された紙類は視認しやすく、使い勝手がより優れるペーパーホルダーを提供する。

【解決手段】正面部 11 と、該正面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する背面部 13 と、正面部と背面部とを連結する上面部 12 と、正面部と背面部との間に、下側から紙類を挿入するための挿入口 17 とを備えたケースと、ケース 10 の内部に設けられた軸支部 15 において回動可能に軸支され、かつ紙類の引き抜き方向へバネ力が付勢され、正面部の側の端部から突出するように刃 40 が設けられた保持片 20 とを備える。背面部 13 は、正面部 11 の下側端部 11a よりも下側に長く延びるように形成された延長背面部 13c を備え、延長背面部 13c の下側端部から紙類の挿入方向へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部 14 を備え、正面部 11 は透明性を有する。

明細書

発明の名称 ペーパーホルダー

技術分野

[0001]

本発明は、同時に複数枚の紙類を容易に挿入して吊り下げ状態に確実に保持することができ、かつ他の紙類が脱落することなく、手前側から1枚ずつ確実に引き抜くことができ、また、引き抜かれた紙には直線状の綺麗な引き裂き跡が残るペーパーホルダーに関する。

背景技術

[0002]

従来、紙類を挟んで固定するために使用するペーパーホルダーとしては各種のものがあるが、その基本構造として、ケースの一方の側に紙類を挿入するための挿入口を有するとともに、ケースの内部に紙類を保持するための保持部材を備えたものが知られている。

そして、本出願人の出願に係る特許文献1には、「底面部を含む上部と、底面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する上面部と該上面部の前端に側面視略U字状をなす前端正面部とを有する上覆部と、が着脱可能に係合し、一体化されて前記前端正面部の下方に紙類の挿入口が形成されるケースと、該ケース内に設けられた、挿入された紙類を保持するための保持片と、該保持片に対して前記紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する弾性部材と、前記保持片に設けられた刃とを備えてなり、前記保持片は、剛性を有する板状体からなり、前記前端正面部の内側に設けられた軸支部において回動可能に軸支され、前記軸支部から前記底面部側へ延びる基板部を備え、前記刃は、前記保持片に対して刃の垂直な起立状態を保持する刃固定部材に固定され、該刃固定部材は、前記基板部の紙類挿入方向側の面に、刃の先端部が前記基板部の前記底面部側の端部から突出するように設けられ、前記底面部の内面に、挿入された紙類の脱落を防止するための摩擦部を備えた、ペーパーホルダー。」が記載されている。

[0003]

特許文献1に記載のペーパーホルダーによれば、「紙類は確実に保持され、保持された紙を上から1枚ずつ確実に引き抜くことができる。そして、引き抜かれた紙には刃による直線状の綺麗な引き裂き跡が残り、塵が発生しにくい。」といった効果が奏される。

先行技術文献

特許文献

[0004]

特許文献 1 特開 2011-131502 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005]

本発明は上記特許文献 1 に記載のペーパーホルダーを改良したもので、生産工場、輸送等の商業活動、事務所等の業務スペースにおいて、複数枚の紙を吊るした状態で確実に保持し、使用するのに適し、かつ、保持された紙類は視認しやすく、使い勝手がより優れるペーパーホルダーを提供することを課題とする。

課題を解決するための手段

[0006]

正面部と、該正面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する背面部と、前記正面部と前記背面部とを連結する上面部と、前記正面部と前記背面部との間に、下側から紙類を挿入するための挿入口とを備えたケースと、前記ケースの内部に設けられた軸支部において回動可能に軸支され、かつ前記紙類の引き抜き方向へバネ力が付勢された保持片であって、その端部から前記正面部に向かって突出するように刃が設けられた保持片とを備え、前記刃の先端部を、前記挿入口から挿入された紙類に当接させて紙類を保持するように構成した、ペーパーホルダーであって、前記背面部は、前記正面部の下側端部よりも下側に長く延びるように形成された延長背面部を備え、該延長背面部の下側端部から前記紙類の挿入方向へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部を備え、前記軸支部は、前記傾斜面部の内側に設けられ、前記正面部は透明性を有してなる、ペーパーホルダーである。

発明の効果

[0007]

本発明によれば、生産工場、輸送等の商業活動、事務所等の業務スペースにおいて、紙類を吊るした状態で確実に保持することができる。

挿入口から挿入された紙類は、保持片に作用する弾性部材のバネ力によって、刃の先端部を挿入された紙類に突き刺した状態で、確実に保持され、保持された紙を手前側（正面部側）から 1 枚ずつ確実に引き抜くことができ、引き抜かれた紙には直線状の綺麗な引き裂き跡が残り、塵が発生しにくい。

また、背面部は、正面部の下側端部よりも下側に長く延びるように形成された延長背面部を備え、該延長背面部の下側端部から紙類の挿入方向へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部を備えているため、紙類を挿入する際、紙類は円滑、確実に挿入口へと誘導され、使い勝手が優れる。

そして、正面部は透明性を有しており、複数の紙のうち、引き抜く順序が一番最初となる手前側（正面部側）となる紙と正面部との間には、保持片その他の部材が何ら介在していないため、保持された一番手前側の紙類の全面を、正面部を通して視認することができるため、使い勝手が優れる。

図面の簡単な説明

[0008]

- [図 1] ペーパーホルダー 1 の側面図である。
- [図 2] ペーパーホルダー 1 の斜視図である。
- [図 3] 保持片 20 及び軸支部 15 を示す斜視図である。
- [図 4] 弾性部材 30 の平面図である。
- [図 5] 刃 40 の側面図である。
- [図 6] 刃固定部材 50 の斜視図である。
- [図 7] ペーパーホルダー 1 の使用状態を示す斜視図である。
- [図 8] ペーパーホルダー 1 の動作の説明図である。
- [図 9] ペーパーホルダー 1 の動作の説明図である。
- [図 10] ペーパーホルダー 1 の動作の説明図である。

発明を実施するための形態

[0009]

本発明の実施例を挙げ、図面を参照して説明するが、本発明は以下の形態に限定されるものではない。

実施例

[0010]

（ケース）

ペーパーホルダー 1 は、ケース 10 と、ケース 10 に内装される保持片 2 とを備えている。

ケース 10 は、正面部 11 と、正面部 11 と空間を隔ててほぼ平行に対向する背面部 13 と、正面部 11 と背面部 13 とを連結する上面部 12 とを備えており、上面部 12 は正面部と一体的に連設されており、正面部 11 及び上面部 12 と、背面部 13 という、二種の異なる断面を有する合成樹脂の成形品の組合せからなり、両者は着脱可能に係合し、一体化されるようになっている。そして、正面部 11 と背面部 13 との間に、下側から紙類を挿入するための挿入口 17 とが形成されている。

図2に示すように、背面部13の両側には、張出し部13eが設けられている。この張出し部13eは、後述するように、板材等にペーパーホルダー1を取り付けて使用する際の取付部として機能する。

ケース10の大きさは、限定されないが、一例として、正面方向から見て、その高さは3~6cm程度、奥行きは2~3cm程度、幅は4cm~7cm(背面部13の張出し部を含む。)程度のものが挙げられる。

上面部12と、背面部13の上部とが係止されて、両者が結合してケース10を形成している。

上面部12の内面には、背面部13側にある鉤状部12aからやや距離をおいて前後二段に突出した突出片12b, 12cが形成されており、その先端の係止部12d, 12eと、背面部13の上部の内面に前後二段に形成された係止部13a, 13bとが互いに係止されて、一体化されている。

ケース10は、硬質の合成樹脂材からなり、正面部11と、該正面部11の上端に連設されて上面部12とが一体成形されたピースと、上面部12に形成された係止部12d, 12eと着脱可能に係止されて一体化される背面部13とで構成されており、正面部11を背面部13に対し、横方向にスライドさせることにより、分離可能である。

そして、ケース10の少なくとも正面部11は透明性を有しており、正面部11の内側を視認することができる。

[0011]

背面部13は、正面部11の下側端部11aよりも下側に長く延びるように形成された延長背面部13cを備えている。図中、背面部13の長さh1から正面部11の長さh2を差し引いた長さh3の領域が延長背面部13cである。

そして、該延長背面部13cの下側端部から、側面視ほぼV字状に、紙類の挿入方向(ケース10の上方)へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部14が形成されている。傾斜面部14の上方端部14aと正面部11との間に紙類の挿入口17が形成されている。

傾斜面部14の上方端部14a寄りの内側には、後述する保持片20が軸支されるための軸支部15が、傾斜面部14からその内方空間(背面部13と傾斜面部14との間の空間)に突出するように形成されている。軸支部15は、傾斜面部14の横幅より短い横幅を有するように形成されており、軸支部15には、シャフト(図示省略)を挿通可能な孔が横方向(ケースの幅方向)に形成されている(図3参照)。

[0012]

正面部11は、その外面が平坦面であるのに対し、正面部11の内面には、挿入口17近傍の位置(傾斜面部14の上方端部14a近傍)から、紙類が未挿入の状態における刃の先端部43近傍の位置に向けて緩やかな負の勾配(手前側への勾配)となる前方斜面部11bと、紙類が未挿入の状態における刃の先端部43近傍の位置から、紙類の挿入方向に向けて緩やかな正の勾配

配（背面側への勾配）となる後方斜面部 1 1 c とが形成されている。前方斜面部 1 1 b の下方側は前方斜面部 1 1 b の頂部から緩やかな負の勾配となる斜面部 1 1 d が形成されている。

前方斜面部 1 1 b 及び後方斜面部 1 1 c の各勾配（傾斜角）は $6 \sim 20^\circ$ 、前方斜面部 1 1 b 及び後方斜面部 1 1 c それぞれの高低差（紙類が未挿入の状態における刃の先端部 4 3 が位置する正面部 1 1 の内面のレベルを基準とした各斜面部頂部までの高さ）は $0.8 \sim 3 \text{ mm}$ 、さらには、前方斜面部 1 1 b 及び後方斜面部 1 1 c それぞれの長さは $4 \sim 10 \text{ mm}$ 、前方斜面部 1 1 b の頂部と後方斜面部 1 1 c の頂部との間の長さは $12 \sim 22 \text{ mm}$ の範囲が、紙類の挿入のし易さと脱落のしにくさの二点の両立をよりの確にする観点から好ましい。

前方斜面部 1 1 b と後方斜面部 1 1 c を形成することによって、正面部 1 1 の内面に、側面視、全体として緩やかな湾曲を呈する凹部が形成され、前方斜面部 1 1 b の頂部と後方斜面部 1 1 c の頂部との間（中間部）に、刃の先端部 4 3 が位置している。前方斜面部 1 1 b と後方斜面部 1 1 c は側面視、直線状のほか、緩やかな曲線で弓なり又は弧状となるように形成してもよい。刃の先端部 4 3 が位置する、前方斜面部 1 1 b と後方斜面部 1 1 c との間に形成された、正面部側に向けての凹部は、刃の先端部 4 3 の動作に支障を来たさないためのものである。

[0013]

傾斜面部 1 4 の上方端部 1 4 a は、前方斜面部 1 1 b とほぼ平行に形成され、側面視、紙類の挿入口 1 7 が、紙類が未挿入の状態における刃の先端部 4 3 近傍の位置に向けて斜状に延びる通路として形成されている。この通路が紙類をケース 1 0 の内部へ挿入する際、紙類を誘導する通路となる。傾斜面部 1 4 の上端における、紙類挿入方向側の先端部 1 4 b は後述する保持片 2 0 の基板部 2 1 の紙類引き抜き方向への動きを規制するストッパーとして機能する。

[0014]

（保持片）

保持片 2 0 は、ケース 1 0 の内部に設けられた軸支部 1 5 において回動可能に軸支されており、かつ紙類の引き抜き方向へ弾性部材 3 0 によってバネ力が付勢されている。そして、該保持片 2 0 には、その端部（正面部側の端部）から刃 4 0 の先端部 4 3 が正面部 1 1 に向かって突出するように刃 4 0 が設けられている。

保持片 2 0 は、例えば、図 3 に示すように、折り曲げ加工された、所要の剛性を有する板状体からなり、傾斜面部 1 4 の内側に設けられた軸支部 1 5 において回動可能に軸支され、軸支部 1 5 から正面部 1 1 側へ延びる基板部 2 1 を備えている。

保持片 2 0 は、剛性を有する板状体からなるため、板状体の加工等により簡単に製作できる。保持片 2 0 は、例えば、厚さ $0.1 \sim 0.3 \text{ mm}$ 程度の

S K材、ステンレス鋼材等の金属板で形成し得る。保持片20の横幅は、一例として2〜4 cm程度である。

保持片20は、側面視略くの字状に屈曲され、基板部21に連なる取付け面部22を備え、基板部21と取付け面部22とがアール状に交わる屈曲部近傍において軸支部15に軸支されている。

保持片20は、傾斜面部14の内側に設けられた軸支部15において回動可能に軸支され、軸支部15から正面部11側へ延びる基板部21を備えているため、正面部11と背面部13とに形成される空間を最大限に有効に利用して保持片20が配置されており、物品の大型化を招くことがなく、また、限られた狭い空間内で保持片20（及び刃）の回動半径を大きくとることができ、紙類の挿入、引き抜きに際し、保持片20の円滑で安定した動作が確保される。

[0015]

図3に示すとおり、保持片20の取付け面部22の両端部は、直角に折り曲げられ、シャフトを通すための軸挿入孔22aを有する取付部22b、22bが形成されている。軸支部15の左右両端部に取付部22b、22bを位置させ、シャフト（図示省略）を、軸支部15の孔及び取付部22bの軸挿入孔22aを貫通させ、適宜止め具（例えば、シリコンゴム等の弾性筒状体等）で止めることにより、保持片20が軸支部15に軸支されるようになっている。したがって、保持片20はケース10に対し着脱可能である。

[0016]

また、保持片20の基板部21の端部（正面部側）は、紙類の挿入方向側に向けて折り曲げられて折り曲げ部26を形成しており、さらには後述する刃固定部材50を所定位置（縦方向）にセットするための係止部27が連設されている。該係止部27を後述する刃固定部材50に係止して固定する。

また、保持片20の基板部21の左右両端には、後述する刃固定部材50を所定位置（横方向）にセットするための係止部28が連設されている。

折り曲げ部26の幅方向の中央部には刃固定部材50に固定された刃が挿通するスリット26aが形成されている。折り曲げ部26及び係止部27は、後述する刃固定部材50の縦方向の位置決め部となり、スリット26a及び係止部28は、刃40が設けられた刃固定部材50の横方向の位置決め部となる。スリット26aを通して、基板部21の底面部側の端部から刃40の先端部43が突出する。

[0017]

（弾性部材）

弾性部材30は、保持片20に対して紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する。

本実施例では、図1、4に示すようにコイルばねを用いている。コイルばね30の線材の両端は接線方向に突出しており、その一方端部が後述する刃

固定部材 50 に設けた孔に差し込まれるとともに、他方端部が背面部 13 の内面に当接しており、これにより、保持片 20 に対してバネ力が付勢されるようにしている。

[0018]

(刃)

刃 40 は、カッターナイフの刃に使われる炭素工具鋼 (SK) など、鋼製のものが好適に用いられる。その厚さは、通常、0.3~1.2mm 程度である。

図 5 に示すように、刃 40 は、直線状に延びる背部 41 と、該背部 41 と交差して鋭角状の刃の先端部 (ポイント) 43 を形成する刃先 (エッジ) 44 と、背部 41 と対向する位置にある刃元 45 (刃先 44 の根元) と、この刃元 45 の近傍から背部 41 に向けて傾斜して伸びる傾斜辺部 46 とを有している。この傾斜辺部 46 の傾斜角 θ はほぼ 30~60° の範囲である。刃 40 の先端部 43 の角度は、通常 20~40° 程度である。刃 40 の刃先 44 の長さは、一例として 5~10mm 程度である。

刃 40 は、交差して鋭角状の刃の先端部 43 を形成する背部 41 と刃先 44 と、刃元 45 の近傍から背部 41 に向けて傾斜して延びるように形成された傾斜辺部 46 とを有する形状であるため、ケース 1 の狭い内部空間に刃 40 が合理的に配置され、刃 40 を含む保持片 20 の動きがケース 1 によって干渉されることなく、刃 40 及び保持片 20 が確実に動作する。

[0019]

(刃固定部材)

刃固定部材 50 は、刃 40 を固定し、所定位置に保持するとともに、保持片 20 の基板部 21 に装着される部材である。刃固定部材 50 には、刃 40 の先端部 43 が突出するように刃 40 が設けられる。また、刃 40 は、基板部 21 の面に対して刃 40 の垂直な起立状態を保持するように刃固定部材 50 に固定される。

図 6 に示すように、刃固定部材 50 は、保持片 20 の基板部 21 に固定される平面部 (底面部) 51 を備えたベース部 52 と、該ベース部 52 から垂直に起立し、刃 40 の腹部 (平) の両サイドで腹部を保持する、刃 40 を收容固定するための起立部 53 とを有する。起立部 53 は、刃 40 の高さに適合する高さを有する。この起立部 53 には刃 40 の輪郭に沿うスリット 54 が形成されており、このスリット 54 に刃 40 を挿入、固定して、刃 40 のベース部 52 に対する垂直状態が保持される。刃固定部材 50 は、合成樹脂の成形品により構成し得る。

刃固定部材は、保持片 20 に固定可能なベース部 52 と、該ベース部 52 から垂直に起立し、刃の腹部を両サイドで保持する起立部 53 とを有するため、刃固定部材 50 の構成が簡易であり、製作コストも低廉である。

刃 40 は、保持片 20 に対して刃の垂直な起立状態を保持する刃固定部材 50 に固定され、刃固定部材 50 は、基板部 21 の紙類挿入方向側の面に、

刃４０の先端部が基板部２１の正面部１１側の端部（スリット２６ａ）から突出するように設けられているため、刃は所定の位置、向きに刃固定部材５０によって確実に保持されるとともに、刃固定部材５０を用いた保持片２０に対する取付け、組立てが簡単である。

[0020]

刃固定部材５０は、ベース部５２の平面部５１において、保持片２０の基板部２１の、紙類挿入方向側の内面に固定される。基板部２１の下端の折り曲げ部２６にベース部５２を合わせて、固定部材５０が固定される。刃４０は、基板部２１の面に対して刃の垂直な起立状態を保持して固定されるとともに、基板部２１のスリット２６ａを通して、正面部１１側の端部から刃４０の先端部４３が突出するように設けられることとなる。刃４０の背部４１は、基板部２１に沿って取り付けられることとなる。

このとき、刃４０は、交差して鋭角状の刃の先端部４３を形成する背部４１と刃先４４と、刃元４５の近傍から背部４１に向けて傾斜して伸びる傾斜辺部４６とを有するため、ケースの狭い内部空間に刃４０が合理的に配置され、基板部２１の動きに伴い刃の動きが支障を来たすことがなく（背部４１に対向する側が背面部１３の係止部１３ａ等に突き当たることがなく）、刃４０を含む保持片２０が確実に動作する。

[0021]

本実施例では、保持片２０の基板部２１の折り曲げ部２６に連設された係止部２７に係止可能な凹溝部５５がベース部５２の表面に形成されている。この凹溝部５５よりも端部側には、先端が肉薄なテーパ部５６が形成されており、刃固定部材５０の基板部２１への装着がし易いようになっている。

したがって、刃固定部材５０は、保持片２０の基板部２１の所定位置に確実に、簡単に装着可能である。

なお、上記のほか、刃固定部材５０の基板部２１への固定は、両面粘着テープ、接着剤、その他の適宜固定手段を用いることができる。

[0022]

図１，２に示すとおり、ケース１０の正面部１１の、刃４０の先端部４３が位置する近傍には、適宜平面形状の透孔（又は凹部）１１ｅが形成されており、該透孔１１ｅ空間に刃４０の先端部４３が納まる。前記したとおり、傾斜面部１４の上端には、先端部１４ｂが形成されているので、保持片２０の基板部２１の紙類引き抜き方向への動きは、先端部１４ｂがストッパーとなって規制されるため、刃４０の先端部４３は、正面部１１に接触せず、損傷等から保護される。

また、刃４０の背部４１は、保持片２０の基板部２１に沿っており、紙類挿入方向に向けてやや傾斜して配置されているため、紙類の挿入も容易に行われる。

[0023]

(設置)

ペーパーホルダー 1 の設置方向、設置場所、設置手段は限定されない。ケース 10 の裏面（正面部 11 の外面）に粘着テープ等を張って、各種壁部に設置することができる。保持すべき紙類のサイズに応じて、ペーパーホルダー 1 を横長の板体等に横に複数個並べて設置し、使用することもできる。図 7 に工場等での使用に適した、使用状態の一例を示す。

2 個のペーパーホルダー 1 は、夫々、背面部 13 の両側に形成された張出し部 13e において板状体 60 にビス止め等の手段により固定されている。板状体 60 にはハンガー 61 が装着されており、該ハンガー 61 を適宜箇所 に掛止して使用することができる。符号 70 は紙類を示す。

[0024]

(動作)

ペーパーホルダー 1 の動作について、図 8、図 9 を参照して説明する。

図 8 は、紙類 70 を挿入口 17 から図の矢印に示す方向に挿入した状態を示し、図 8 は、挿入した紙類 70 の一番手前側の一枚の紙を引き抜く状態を示すものである。

図 8 に示すように、先ず、適宜複数枚（通常、5～10 枚程度）の紙類 70 を重ねた状態で、挿入口 17 からケース 10 の内部へ挿入する。すると、紙類 70 の前端部は刃 40 の背部 41 に軽く当り、さらに保持片 20 に対する挿入口側への弾性部材 30 によるバネ力に抗して挿入を続けると、紙類 70 は、より内部へ進入する。この時、保持片 20 の基板部 21 は、軸支部 15 を支点として、図面矢印の方向（挿入方向側）に回動し、保持片 20 にかかるバネ力は、刃 40 の先端部 43 が紙類 70 を、正面部 11 との間で挟持するように働く。刃 40 の先端部 43 は、挿入された紙類 70 の背面部側に位置する紙に当接し、通常、軽く刺さった状態となる。紙類 70 の先端は後方斜面部 11c の先まで挿入される。

さらに、このように挿し込んだ後、紙類 70 を全体を下方へ若干引く。保持片 20 はそれにかかるバネ力と共に引かれた方向へ戻り、図 9 に示すとおり、元の状態に戻り、紙類 70 は、その全体が刃 40 の先端部 43 に刺された状態で正面部 11 との間に保持される。

ここで、前記のとおり、正面部 11 の内面には、挿入口 17 近傍の位置（傾斜面部 14 の上方端部 14a）から刃の先端部 43 近傍の位置に向けて緩やかな負の勾配となる前方斜面部 11b と、刃の先端部 43 近傍の位置から、紙類 70 の挿入方向に向けて緩やかな正の勾配となる後方斜面部 11c とが形成されている。このため、挿入された紙類 70 が、図示のように、前方斜面部 11b と後方斜面部 11c との間（前方斜面部 11b の頂部と後方斜面部 11c の頂部との間）において、側面視、下方に膨らむ弓なりに撓むように刃 40 の先端部 43 の押圧力が働く。それゆえ、複数枚の紙類 70 は、上記のような紙類 70 の撓みがない場合に比べて各紙葉同士の摩擦抵抗が増大し、全体として、確実に保持される。したがって、ペーパーホルダー 1 は縦

向きに使用される場合が多いところ、そのように縦向きに使用する場合にあって、背面側部や中間に位置する紙が脱落することが防がれる。前方斜面部 11b と後方斜面部 11c とが存在しない場合では、上記のような紙類 70 の撓みは生じないので、紙の脱落が生じやすい。

また、前記のとおり、傾斜面部 14 の上端は、前方斜面部 11b とほぼ平行に形成され、側面視、紙類の挿入口 17 が、紙類が未挿入の状態における刃の先端部 43 近傍の位置に向けて斜状に延びる通路として形成されている。このため、紙類をケース 10 の内部へ挿入する際、該通路が紙類を背面側から正面側へとやや斜めに誘導する機能を奏し、刃 40 の背部 41（及び先端部 43）に対する接触角が小さくなるため、刃 40 に対する抵抗が小となり、紙類をスムーズに挿入することができる。また、前方斜面部 11b 及び後方斜面部 11c は緩やかな勾配に形成されているため、これに沿うように紙類 70 は誘導され、スムーズに挿入、引き抜きできる。

さらに、延長背面部 13c の下側端部から紙類の挿入方向へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部 14 が形成され、傾斜面部 14 の上方端部 14a と正面部 11 との間に紙類の挿入口 17 が形成されているため、紙類 70 を挿入する際、紙類 70 は円滑、確実に挿入口 17 へと誘導される。

[0025]

一番手前側に位置する紙が不要になった場合、該紙を、図 10 に示すように、挿入口 17 から矢印に示す方向に引き抜く。この時、刃 40 の先端部 43 は紙類 70 に突き刺さった状態で、一番手前側の紙のみが引き抜かれることになる。すなわち、他の紙は脱落することなく保持されたまま、一番手前の紙のみが引き抜かれる。

ここで、前記のとおり、正面部 11 の内面には、挿入口 17 近傍の位置（傾斜面部 14 の上方端部 14a）から刃の先端部 43 近傍の位置に向けて緩やかな負の勾配となる前方斜面部 11b と、刃の先端部 43 近傍の位置から、紙類の挿入方向に向けて緩やかな正の勾配となる後方斜面部 11c とが形成されている。このため、紙類 70 が、図示のように、前方斜面部 11b と後方斜面部 11c との間（前方斜面部 11b の頂部と後方斜面部 11c の頂部との間）において、側面視、手前側に膨らむ弓なりに撓むように刃 40 の先端部 43 の押圧力が働く。それゆえ、複数枚の紙類 70 は、各紙葉同士の摩擦抵抗が増大し、全体として、確実に保持され、一番上の紙のみを確実に引き抜くことができる。ペーパーホルダー 1 は縦向きに使用される場合が多いところ、そのように縦向きに使用する場合にあって、背面側部や中間に位置する紙も一緒に脱落することが防がれる。前方斜面部 11b と後方斜面部 11c とが存在しない場合では、上記のような紙類 70 の撓みは生じないので、紙の脱落が生じやすい。

引き抜かれた一番手前側に位置する紙は、刃 40 の先端部 43 が突き刺さった状態で引き抜かれることになるので、刃 40 の先端部 43 が突き刺さった接触点を始点として紙の前端側に至る直線状の綺麗な切断線（跡）が形成される。また、後方斜面部 11c の存在による紙類の撓みによって、紙類 70 を引き抜くときの刃 40 の刃先 44 との接触角も、後方斜面部 11c がな

い場合に比べて小さくなるので、切断がよりスムーズに行なわれ、綺麗な切断線が得られる。

上記動作を繰り返すことによって、簡単かつ確実に手前側に位置する紙を1枚ずつ引き抜くことができる。

[符号の説明]

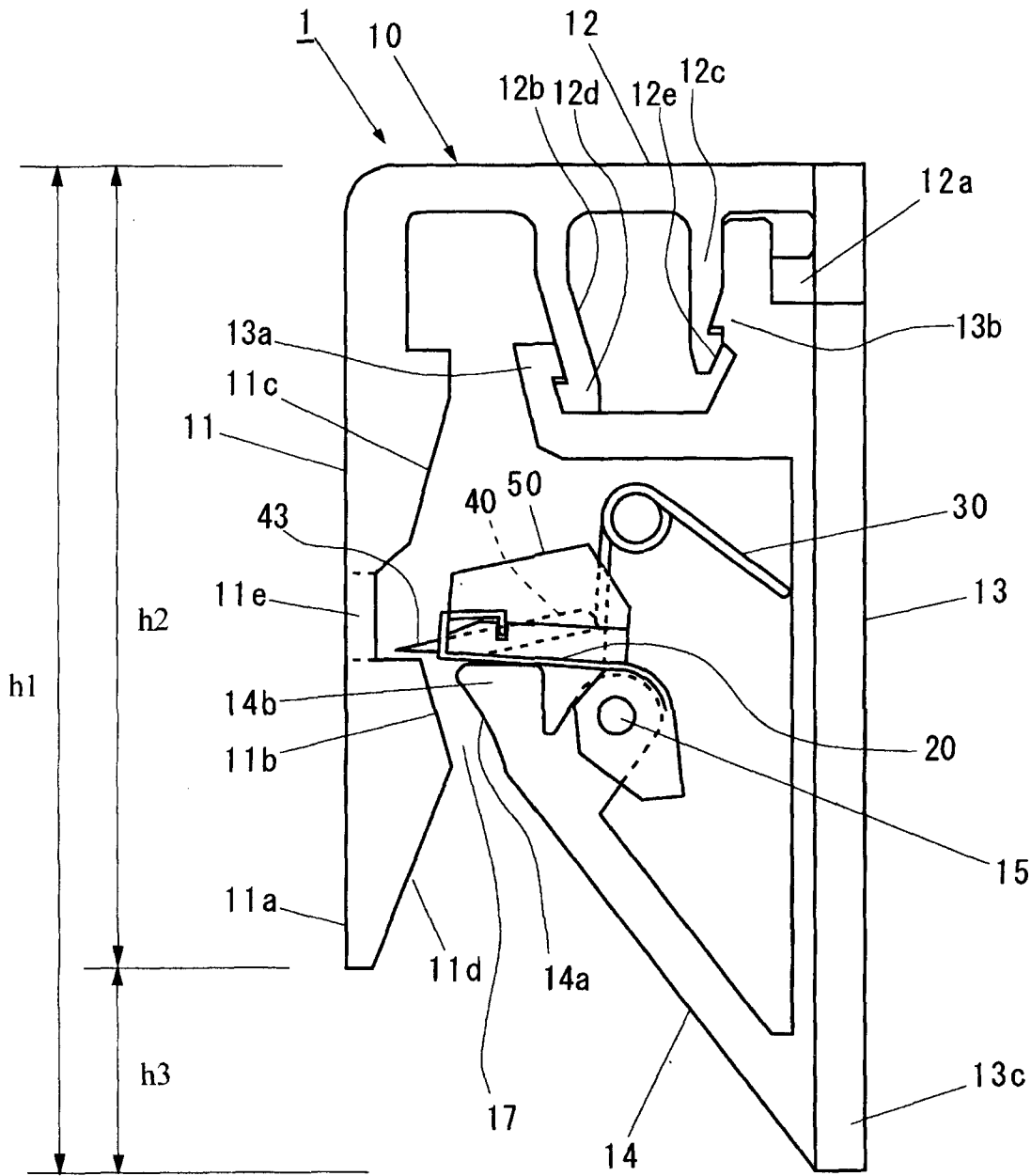
[0026]

- 1 ペーパーホルダー
- 1 0 ケース
- 1 1 正面部
- 1 2 上面部
- 1 3 背面部
- 1 3 c 延長背面部
- 1 4 傾斜面部
- 1 5 軸支部
- 1 7 挿入口
- 2 0 保持片
- 3 0 弾性部材
- 4 0 刃
- 4 3 刃の先端部
- 7 0 紙類

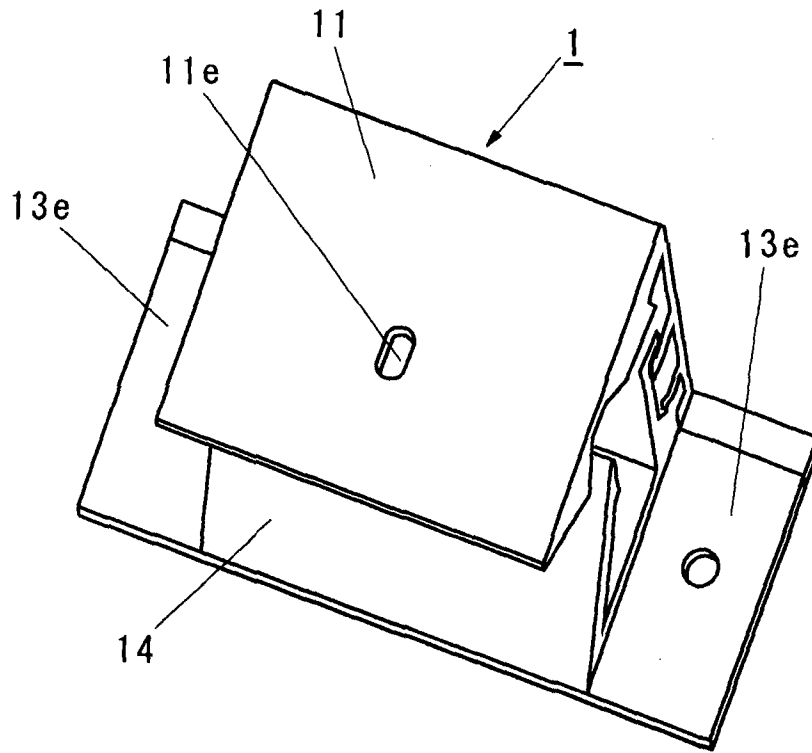
請求の範囲

【請求項1】 正面部と、該正面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する背面部と、前記正面部と前記背面部とを連結する上面部と、前記正面部と前記背面部との間に、下側から紙類を挿入するための挿入口とを備えたケースと、前記ケースの内部に設けられた軸支部において回動可能に軸支され、かつ前記紙類の引き抜き方向へバネ力が付勢された保持片であって、その端部から前記正面部に向かって突出するように刃が設けられた保持片とを備え、前記刃の先端部を、前記挿入口から挿入された紙類に当接させて紙類を保持するように構成した、ペーパーホルダーであって、前記背面部は、前記正面部の下側端部よりも下側に長く延びるように形成された延長背面部を備え、該延長背面部の下側端部から前記紙類の挿入方向へ向けて側面視ほぼ直線状に延びる傾斜面部を備え、前記軸支部は、前記傾斜面部の内側に設けられ、前記正面部は透明性を有してなる、ペーパーホルダー。

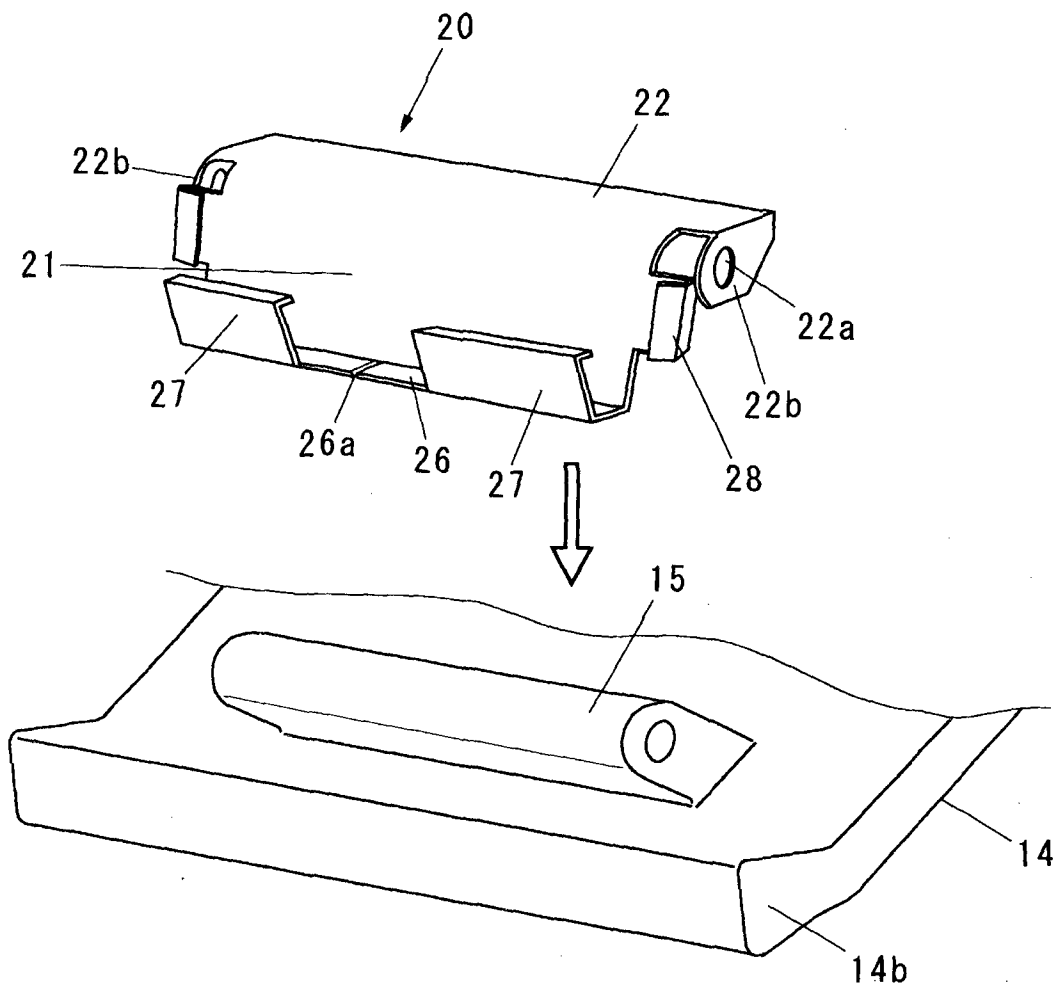
[図 1]



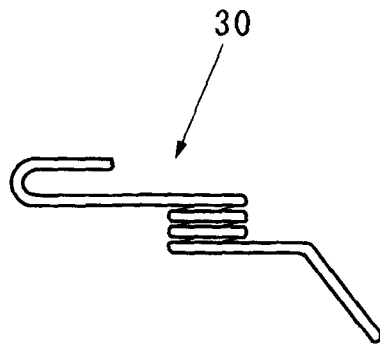
[図 2]



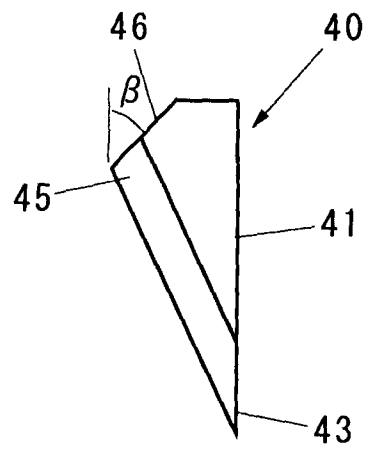
[図 3]



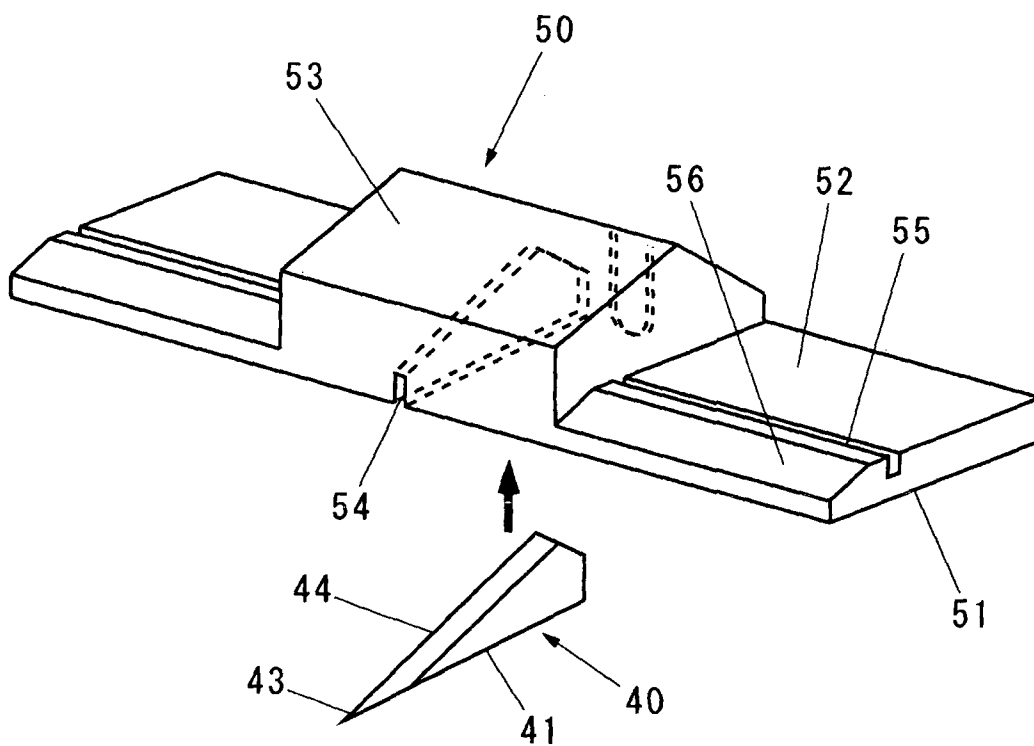
[図 4]



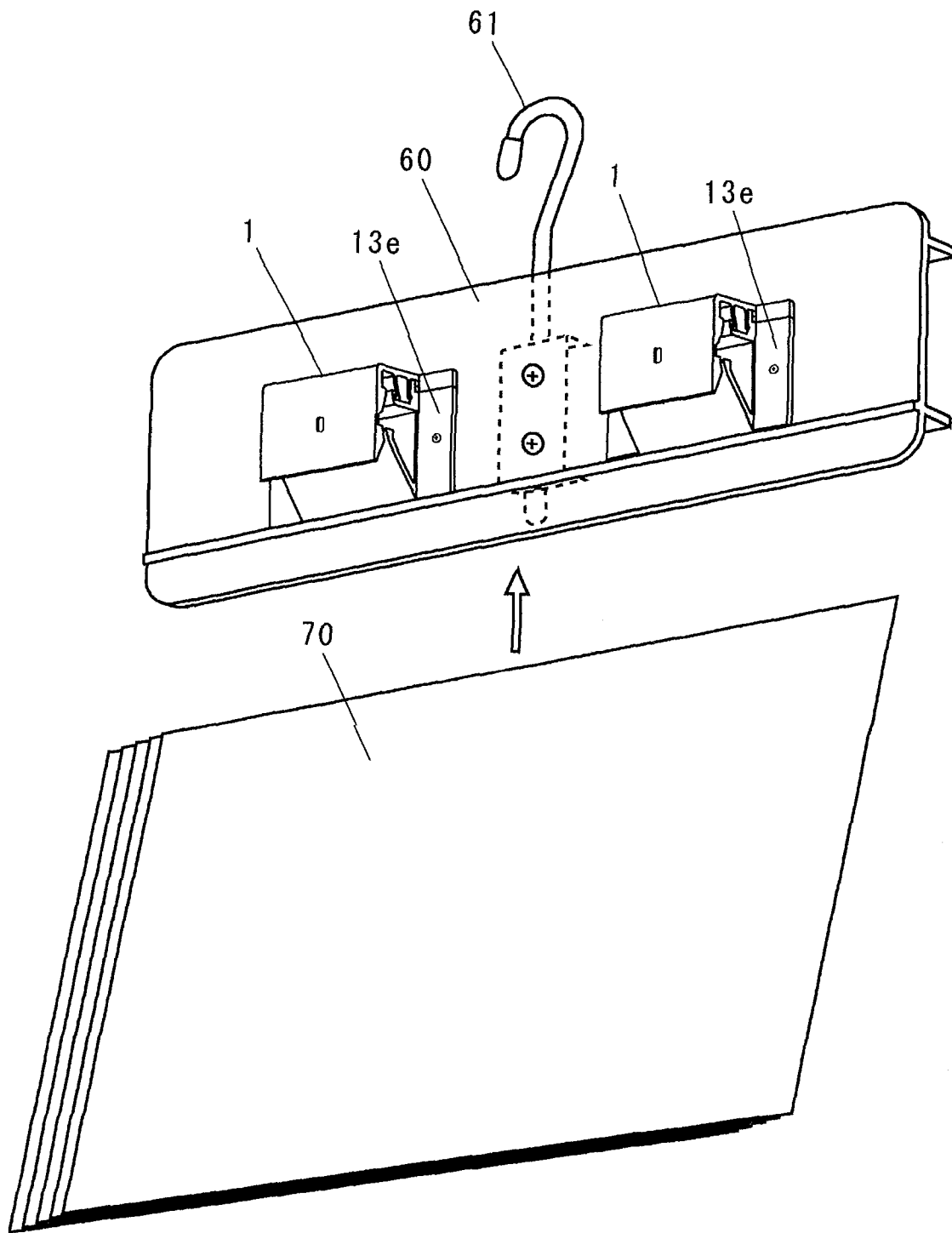
[図 5]



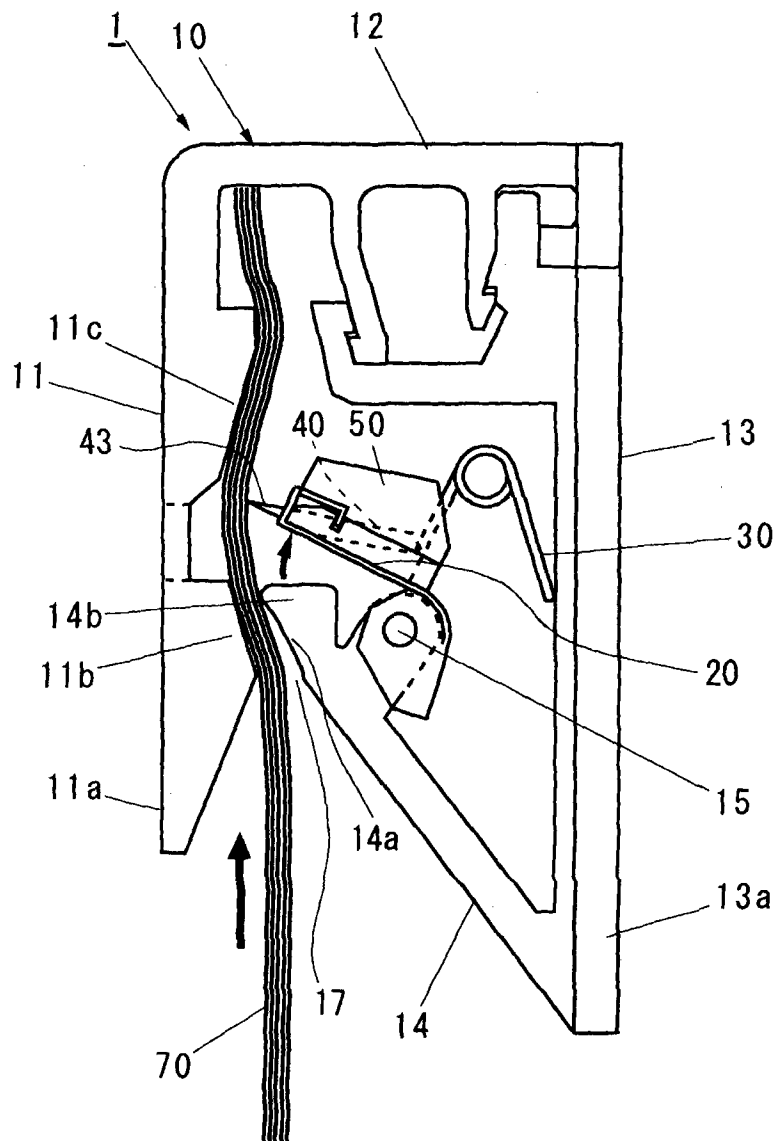
[図 6]



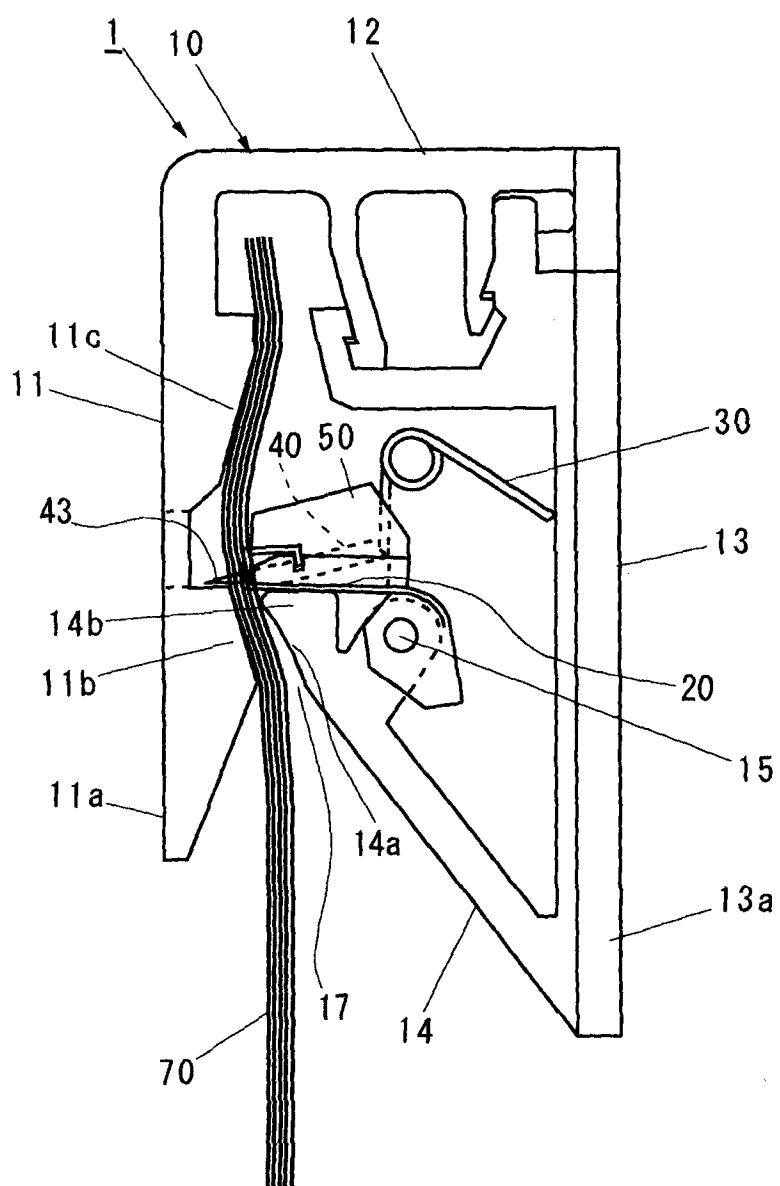
[図 7]



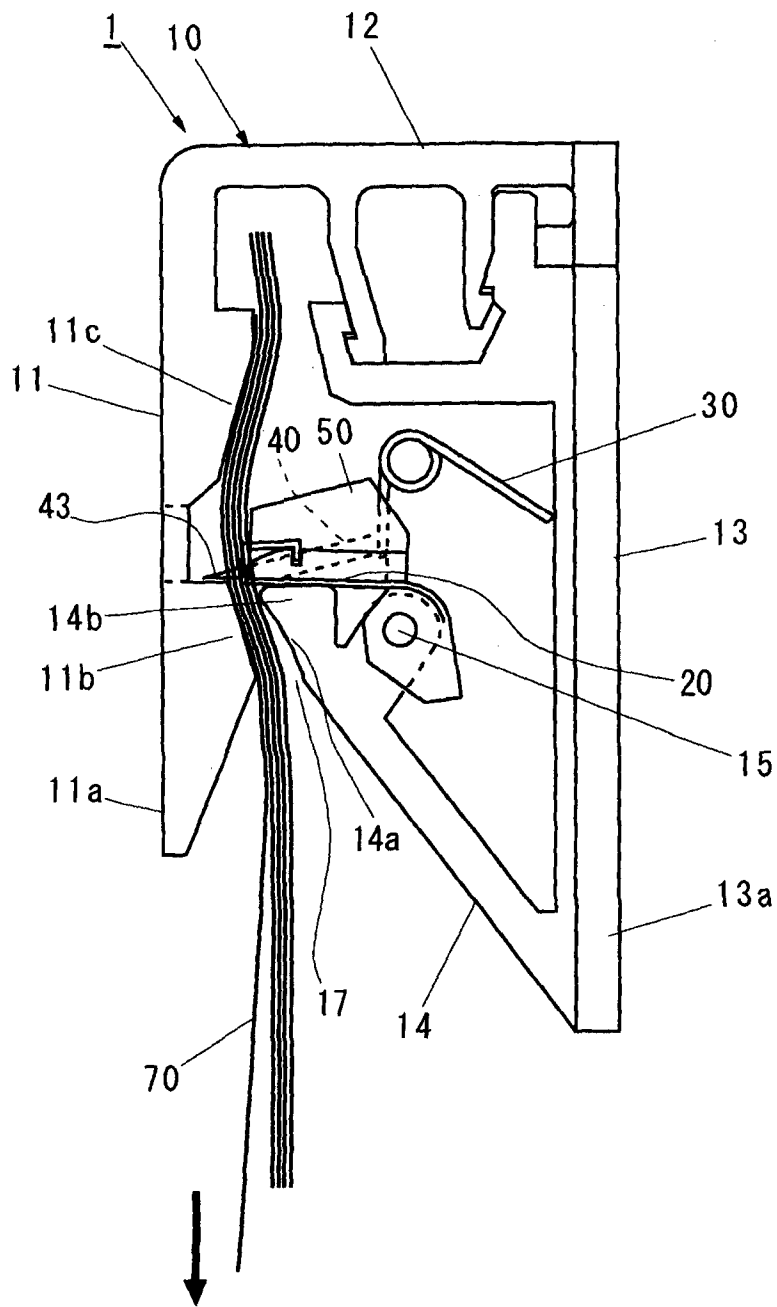
[図 8]



【図 9】



[図 10]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/056876

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B42F1/02 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B42F1/00-23/00, G09F1/10, G09F3/20, F16B5/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2013

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2013 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	WO 2009/116190 A1 (NS Planning Inc.), 24 September 2009 (24.09.2009), claims; paragraphs [0009] to [0031]; fig. 1 to 14 & JP 2011-115947 A	1
A	WO 2010/073812 A1 (NS Planning Inc.), 01 July 2010 (01.07.2010), claims; paragraphs [0007] to [0015]; fig. 1 to 10 & JP 2010-149360 A	1

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
26 March, 2013 (26.03.13)

Date of mailing of the international search report
09 April, 2013 (09.04.13)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/056876

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	WO 2008/096463 A1 (NS Planning Inc.), 14 August 2008 (14.08.2008), claims; paragraphs [0009] to [0014]; fig. 1 to 3 & JP 2008-188915 A & US 2008/0258452 A1 & EP 2110265 A1 & CA 2634424 A & CN 101389492 A & AU 2007342053 A	1
A	WO 2011/077794 A1 (NS Planning Inc.), 30 June 2011 (30.06.2011), claims; paragraphs [0010] to [0024]; fig. 1 to 7 & JP 2011-131502 A & US 2012/0260466 A1 & EP 2517893 A1 & CA 2785238 A & KR 10-2012-0099130 A	1
A	JP 3775222 B2 (NS Planning Inc.), 17 May 2006 (17.05.2006), claims; paragraphs [0001] to [0013]; fig. 1 to 10 & US 2003/0172570 A1 & EP 1312485 A1 & WO 2002/011999 A1 & DE 60139261 D & AU 7674101 A & CA 2416951 A & KR 10-2002-0019875 A & CN 1361017 A & AU 2001276741 B	1
A	JP 3008170 U (Kabushiki Kaisha Itoya), 17 March 1995 (17.03.1995), abstract; claims; paragraphs [0001], [0011] to [0029]; fig. 1 to 4 (Family: none)	1
P,A	JP 2012-121203 A (NS Planning Inc.), 28 June 2012 (28.06.2012), abstract; claims; paragraphs [0001], [0010] to [0021]; fig. 1 to 5 & WO 2012/077441 A & WO 2012/077441 A1	1

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B42F1/02(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B42F1/00-23/00, G09F1/10, G09F3/20, F16B5/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 3 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 3 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 3 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	WO 2009/116190 A1 (エヌエスプランニング株式会社) 2009.09.24, 請求の範囲, 段落[0009]-[0031], 図1-14 & JP 2011-115947 A	1
A	WO 2010/073812 A1 (エヌエスプランニング株式会社) 2010.07.01, 請求の範囲, 段落[0007]-[0015], 図1-10 & JP 2010-149360 A	1

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 6 . 0 3 . 2 0 1 3

国際調査報告の発送日

0 9 . 0 4 . 2 0 1 3

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

榎 俊秋

2 B

3 8 1 7

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	WO 2008/096463 A1 (エヌエスプランニング株式会社) 2008.08.14, 請求の範囲, 段落[0009]—[0014], 図1—3 & JP 2008-188915 A & US 2008/0258452 A1 & EP 2110265 A1 & CA 2634424 A & CN 101389492 A & AU 2007342053 A	1
A	WO 2011/077794 A1 (エヌエスプランニング株式会社) 2011.06.30, 請求の範囲, 段落[0010]—[0024], 図1—7 & JP 2011-131502 A & US 2012/0260466 A1 & EP 2517893 A1 & CA 2785238 A & KR 10-2012-0099130 A	1
A	JP 3775222 B2 (エヌエスプランニング株式会社) 2006.05.17, 【特許 請求の範囲】, 段落【0001】—【0013】, 図1—10 & US 2003/0172570 A1 & EP 1312485 A1 & WO 2002/011999 A1 & DE 60139261 D & AU 7674101 A & CA 2416951 A & KR 10-2002-0019875 A & CN 1361017 A & AU 2001276741 B	1
A	JP 3008170 U (株式会社伊藤屋) 1995.03.17, 【要約】, 【実用新案 登録請求の範囲】, 段落【0001】, 【0011】—【0029】, 図1—4 (ファミリーなし)	1
P, A	JP 2012-121203 A (エヌエスプランニング株式会社) 2012.06.28, 【要約】, 【特許請求の範囲】, 段落【0001】, 【0010】—【0 021】, 図1—5 & WO 2012/077441 A & WO 2012/077441 A1	1